16

読プロの行方

4月

新歓・うえるびりんフェスタ
別活体が主催する新入生を獲得するイベントである“うえるびりんフェスタ”に読プロも参加しました。学内の多くの他団体に混じって、読プロのアピールを行いました。

公開ミーティング
普段は室内で行っている定例ミーティングを図書館の前の広場で開催しました。読プロが普段どんな活動をしているのか、過去の報告書やチラシ等を見せながら雑談を交えて進めました。おかげで新たに８人の新入生を迎えて今年度の活動が始まりました。

図書館棚「新入生向け活用ツール棚」
新入生の大学生活をよりよいものにしてもらうべく設置しました。授業、単位、サークル、バイトなど、新入生が大学を楽しく有意義なものにしてもらうための活用ツールとしての本　を選書しました。

読書会「ツナグ」辻村見深月著
新入生が入ってからの最初の読書会でした。そのため、かなり硬く緊張感のある読書会となりましたが、物語の中心となる「ツナグ」が死者と生者を仲介することについて、様々に意見があがりました。

5月

キックオフミーティング
読プロメンバーのほぼ全員が集まり、新しく入った１年生との顔合わせとなりました。
ミーティングの中では「１年間の読プロ活動予定」、「POP の制作方法」、「購事録の書き方」、「協力してくださっている先生方へのメール送信方法」などを２、３年生は再確認、１年生は教えてもらいました。

6月

読書会「残像に口紅を」筒井康隆著
この本は、文字がどんどんなくなっていく不思議な本で、読んだ本は時にでも感想は人それぞれありました。そのための本に対する様々な意見が飛び交い、白熱した読書会になりました。
特に最終章の展ふみたは真っ二つに割れ、「これはこれでいいんだよ」派の人と「全く理解できないよ」「こんなのいらないよ」派の人に分かれて議論が行われました。結末曲折ありましたが、最終的にお互い分かり合うことが出来ました。

7月

図書館棚「涼しくなる棚」
今回、暑い夏を乗り切るために、大学の図書館内に設置しました。
テーマは、「涼しくなる棚」として、ホラー系からおばあちゃんに POP をつけて、どのような本なのかの説明をし、手に取りやすいように工夫しました。

8月

読書会「諸し斜松風抄」藤沢周平著
江戸時代の武士を登場人物とした短編集で、読みやすい作品でした。
男性陣は「大変満足のいく素晴らしい作品」、女性陣からは「あまり面白くない」と意見が分かれた読書会でした。

合宿
伊豆高原で２泊３日の合宿をしました。初日と最終日は観光、２日目は１日全て使いミーティングを行いました。
図書館総合展や学園祭、中山七里先生のイベント等、読プロメンバー全員で今後の活動について話し合いました。

相模原市立図書館　コラボ企画「大学生から中高生のキミへおすすめの本」
8/10～9/12 の期間、相模原市立図書館のヤングアダルトコーナーへ「大学生から中高生のキミへおすすめの本」と題し、展示企画を行いました。おすすめの本は読プロメンバーが選んで POP を書きました。
また、リアクションカード内にあった質問に回答する、ということも実施しました。

9月

図書館棚「怒・哀・哀に読みたくなる本」
図書館内に各読プロ棚へ“連載学期間の長い棚”や“空きコマがある昼”や“時間のある夜”など、それぞれのライフスタイルに合わせて、読んでもらいたい本を選書して並べました。

読書会「静おばあちゃんにおまかせ」中山七里著
11 月 27 日開催の「コメント大賞授賞式＆中山七里先生トークショー」イベントに向けて、中山七里先生著の作品「静おばあちゃんにおまかせ」を読みました。女子大生とその祖母である静おばあちゃんが理理を繰り広げ、様々な要素がある作品を読み、内容を盛り下げていきました。

生協棚「本の処方箋」
読プロと生協のコラボ企画である生協棚「本の処方箋」企画をおこないました。なんの本が売られているかわからないようにパッケージングして、その本に対する魅力を処方箋形式で書き込んで売る、という企画を実施し、ちょっとしたスリル、ギャンブル感を味わえる興味深いコラボとなりました。

10月

読書会「さよならドビュッシー」中山七里著
11 月のイベントに向けて、とある事件により全身火傷を負った女性ピアニストの音楽ミステリー作品であるこの本で読書会を行いました。読みやすいなどの意見がありました。

学園祭
有名な文章の頭をポーリングのピンに当り倒す「文豪倒し」と本の一節を読み、本のタイトルを取り札として、取り合う「文豪がるた」を行いました。理由に合わせて、景品をプレゼントしました。

11月

読書マラソンコメント大賞表彰式
主旨で表彰している読書マラソンの大賞を採用林大学内で決め、授賞式を行います。例年、「大賞」の他、「宝箱賞」「図書館賞」「教員賞」「学生賞」を決めて表彰していますが、今年は 11/27(火)に開催します。どんな読書マラソンのコメントが受賞するのでしょうか……

作家さんトークイベント
例年読書マラソンコメント大賞表彰式と合わせて、作家さんをお呼びしトークイベントを開催しています。今年は中山七里先生をお呼びしてトークイベントを行います。「静おばあちゃんにおまかせ」をメインに話しながら、「静おばあちゃん」などについてお話を聞いていきたいと考えています。

読書会

読書会とは、あらかじめ決められた本を事前に読んできて、その感想をメンバーが自由に語り合う会です。時には自分の得意分野に引き込みながら、時にはファッションを入れながら、時には脱線しながら、メンバーで議論し合います。

読プロでは、コメントカードを用いて行うことが多くあります。発言はホワイトボード等に記録を取っておき、後に議事録を作ります。やり方は読書会によって異なり、大きな模造紙に皆で感想を書いたり、本の一部を朗読したり、本に書いてあったことを実演したりしています。

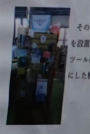
2017 年度読書会「GOSICK」勉強・研究

図書館棚

相模林大学図書館の 3 階にある三角柱の棚に読プロメンバーがテーマを決め、そのテーマをもとに選書を行います。また、選書したものの POP を作り棚の飾りつけをします。

年に 5 回程 2~3 ヵ月の頻度で棚のテーマを変えています。

2017 年度「LAZI 研究棚」



その季節やイベントに合った棚を設置して、例えば 4 月だと「活用ツール棚」と新入生をターゲットにした棚にしました。

2018 年度「夏・涼・哀の時間帯に読みたい棚」

相模原市立図書館×読プロ　コラボ企画

私たち読プロでは 2014 年度より地域の公共図書館と協力して企画を展開しています。

2014 年~2017 年までは相模大野図書館を中心に、周辺学校の中高生と POP 講座や YA(ヤングアダルト)向けのイベント選営等を行いました。

2018 年度は相模原市立図書館にて図書館内の YA コーナーを借り、読プロがプロデュースした本棚作成を行いました。『大学生から中高生のキミへおすすめの本』と題し、メンバー自身が読んだ本の中でのおすすめを選書、及び POP の制作・展示を題目としました。

夏休みの実施、また大学生目線の選書・装飾だったこともあり貸出数は伸びたため、今後も定期的な展示を視野に入れていきたいと考えています。